

職員による自己評価

A環境面

- ・活動内容によって人数や部屋を分ける工夫を行い、利用児童が安全に楽しく過ごせるよう配慮している。
- ・教室内は段差のある箇所が少ないつくりになっている。

B児童への支援内容

- ・保護者、児童のニーズと児童の現状を踏まえて、適切に支援計画の作成を行っている。
- ・職員間で会議を重ね、活動内容の工夫や支援を行っている。

C関係機関との連携

- ・保護者や児童のニーズに応じて連携をとっている。
- ・連絡ツールを活用して、児童の活動の様子を毎回保護者様へ詳しく説明している。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・支援内容や運営規定について、契約時や面談時に詳しく説明している。

E非常対応

- ・定期的に避難訓練を実施し、避難場所や経路の確認、把握をしている。

保護者による評価

A環境面

- ・学習スペースは十分に確保されていると思う。
- ・職員の配置数については送迎時の職員数を増やしてほしいとの意見があった。

B児童への支援内容

- ・日々のプログラムのクオリティが高い。
- ・子どもと保護者、両方のニーズを組んだうえで計画が作成されている。
- ・毎回子どもがとても楽しんで通っている。
- ・利用できて本当に良かった。
- ・先生たちがしっかりと子どもたちを見てくださっている。

C事業所からの情報発信

- ・毎日活動内容を写真を交えて伝えてくださり、とても分かりやすい。
- ・活動の予定や持ち物など、分かりやすく教えてくれている。

D非常対応

- ・子どもに対しても訓練内容等についてわかりやすく説明をしてきている。
- ・緊急対応や防犯などの各マニュアルについての周知は「どちらともいえない」との意見があった。

事業所内での分析

【共通点】

- ・連絡ツールを活用し、毎日の活動の様子を共有することができている。
- ・日々の活動プログラム内容に工夫がされているので、子どもたちが毎回楽しく通うことができている。
- ・定期的な避難訓練を実施することで、子どもたち自身も緊急時の対応について理解を深めることができている。

【相違点】

- ・連絡ツールを活用して毎日の活動内容を共有しているが、教室の環境や雰囲気までは伝えられていない。
- ・職員の配置数に相違がある。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・連絡ツールを使用し、毎日の児童の活動の様子を保護者に細かく報告することで、適宜保護者との情報共有を行うことができる。
- ・様々な活動プログラムを組んでいるため、児童が楽しく通うことができる。
- ・保護者と児童のニーズを組んだ支援を行うことができる。

事業所の改善点

- ・保護者の方に教室の雰囲気を知っていただけるような機会（夏祭りイベントや児童の作品の展示会等）を設けていく。
- ・送迎時の職員配置数について再検討を行う。

事業所の改善への取り組み

- ・教室にてイベントなどを行った際には、保護者様も参加できるような体制を検討し、教室の雰囲気をより知ってもらえるような機会を設定していく。
- ・個人情報の取り扱いについては、職員への周知を徹底する。
- ・児童、保護者が安全にサービスを利用できるような職員体制を整えていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

この度はアンケートにご協力いただきありがとうございました。

当教室は2023年4月にオープンし、開所からまもなく1年が経とうとしています。おかげさまでたくさんのお子様楽しく教室に通ってくださっていることがわかり、大変嬉しく思っております。

今回いただいた貴重なご意見をもとに、さらに安心安全な教室づくりを行っていただけるよう、職員一同精進してまいります。

事業所名 Peek A Boo 網島西教室

担当者 富田真由子

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年3月1日

アンケート期間:令和5年 12月 1日～令和6年 1月 12日

事業所名 放課後等デイサービスPeek A Boo網島西教室 保護者等数(児童数)23 回収数 22 割合 96%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	3	0	0	・学習スペースの確保が十分にされている ・実際の様子を見たことがないのでわからない	活動内容やお子様のご意見に応じてスペースの確保を行っております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19	3	0	0	・各分野で専門性の高い先生が指導してくださっていると感じる ・送迎業務は2名体制で行ってほしい	対応いたします。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	9	0	0	・子どもの安全に配慮されている	
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	21	1	0	0	・子どもと保護者の両方のニーズを組んだうえで、負担なく利用ができていてありがたい。	
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	22	0	0	0	・同じ内容にならないよう工夫がされている ・びっくりするくらい工夫がなされている	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	14	5	0	・他教室と一緒に活動する機会があり、他学年とふれあうことができるのでよいと思う	
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	1	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	2	0	0	・毎日活動内容を写真を交えて伝えてくださり、とても分かりやすい ・内容もポジティブなものが多く、とても丁寧。 ・軽いけがなどの報告は口頭で教えてくれるので助かる。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	2	1	0	・相談しやすい環境で助かっている	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	7	14	0	・保護者同士のつながりは求めていない ・年1回でよいので、保護者も参加ができる活動があったら嬉しい	現時点で開催の予定はございませんが、事業所としてどのようにアプローチができるか検討してまいります。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	5	1	0	・苦情を聞いたことがないのでわからない ・急な要望なども快く対応してくれる	お子様、保護者様から苦情があった際は、真摯かつ迅速に対応していきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	2	1	0	・ラインでのやり取りはとても便利でありがたい	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	2	1	0	・活動の予定や持ち物等、分かりやすく教えてくれている	
14 個人情報に十分注意しているか	17	5	0	0	・LINEで時折誤送信があるため、その都度削除をしている ・面談時に他児の書類が見えたことが一度のみあった	今後不手際がないよう、個人情報の取り扱いについては職員間で徹底し、十分注意してまいります。	
非常時	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	4	0	0		

時等の対応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	2	0	0	・児童に対してわかりやすく説明をしてくれている	年に2回の避難訓練と車内の置き去り防止訓練を実施しています。引き続き、すべての利用児童が避難訓練に参加できるよう日時を調整していきます。
	満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	21	1	0	0	・好きな先生も多く、毎日行きたいというほど楽しんで通っている ・毎回とても楽しく通っている
18		事業所の支援に満足しているか	20	2	0	0	・親子ともにとっても満足している ・今後も引き続き通っていきたいと思う ・日々のプログラムのクオリティが高い ・先生たちがとてもしっかりと子どもたちを見てくださっており、子どももなついている ・利用できて本当に良かった	

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月25日

事業所名 放課後等デイサービスPeek A Boo網島西教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・法令を遵守しています。 ・活動内容によって人数や部屋を分けるなどの工夫を行い、利用児童が安全に楽しく過ごせるように配慮しています。	今後も法令を遵守します。
	2	職員の配置数は適切である	○		法令を遵守しています。	今後も法令を遵守します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・教室内には段差のある箇所が少ないです。 ・机の角にはコーナーガードを設置し、安全対策をとっています。	今後も利用児童に合わせた環境設定、設備の整備を行っていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・職員間で毎日ミーティングを実施し、前日の振り返りや意見交換を行っています。	引き続き継続して毎日のミーティングの実施や情報共有を行っていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		当事業所は2023年4月に開所したため、今回が初めての実施です。	保護者様からの意見を把握し、業務改善へつなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・当事業所は2023年4月に開所したため、自己評価については今回が初めての実施です。 ・他教室の前年度の評価結果はホームページにて公開しています。	教室のHPにて公開をしていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は実施していません。	今後必要に応じて実施を検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・各職員が発達障害に関する研修を受講しています。 ・職員全体での研修の機会を設けて、療育や支援について学んでいます。	今後も職員に質の向上を図り、研修で習得した知識を現場につなげていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者と児童のニーズや児童の現状から、適切に支援計画をの作成を行っています。	引き続き適切な支援計画作成を心掛けていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートは教室内で統一したものを使用しています。	今後も同様のアセスメントシートを使用していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・毎月カリキュラム会議を実施し、職員間で意見を出し合いながら次月の活動内容を決定しています。	今後も継続していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		集団活動のプログラムは、曜日や週ごとに活動内容が被らないようにしています。	今後も継続していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		個別支援計画をもとに活動内容を検討、設定し、細かな点も話し合いを重ねて支援を行っています。	今後も継続していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		学習時間などの個別活動の時間、ゲームや工作などの集団活動の時間をどちらも取り入れて毎日療育を実施しています。	今後もお子様の状況を踏まえて継続していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		サービス提供開始前に活動の流れや注意事項を職員間で確認し、共有を行っています。	今後も継続していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・その日または翌日のサービス提供開始前に職員間で確認・共有を行っています。 ・すぐに共有すべき内容については、連絡ツールを活用して共有するようにして	支援終了直後には共有する時間を確保できないときもあるため、職員間で情報共有を十分な時間の確保ができるよう、検討していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回の活動記録を記入し、保護者に共有しています。	正しい記録の記入を徹底し、よりよい支援に繋げていきます。

18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		個別支援計画更新時に保護者に対してモニタリングを行っています。 今後も必要に応じて面談を実施していき、適切な個別支援計画作成を心掛けていきます。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○	ガイドラインに則って支援を行っています。	今後も継続して実施をしていきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	現在、該当児童は在籍していません。	今後参加する場合には子どもの状況に精通した者が参加をしていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	・各学校の情報共有は主に保護者様を通して行っています。 ・保護者様からのご要望に応じて学校訪問を行っています。 ・下校時刻の変更については迅速に対応できるよう心掛けています。	引き続き保護者様と連絡をとりながら、職員全員が情報を把握できるようにしていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	現在、該当児童は在籍していません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	利用していた事業所から情報共有シートをいただき、情報の把握を行っています。	今後も必要に応じて連携をしていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	現在該当児童は在籍していません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	現在は連携を行っていません。	今後、必要に応じて連携をしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	現在そのような機会は設けていません。	今後、必要に応じて検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	教室管理者または児童発達支援管理責任者が参加をしています。	地域との連携強化のため、今後も引き続き参加をしていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	面談の機会や連絡ツールを活用して子どもの状況を常時共有しています。	よりよい支援を行うことができるよう、引き続き保護者様との情報共有を行っていきます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	現在そのような機会は設けていません。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に説明をしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	・都度保護者様からの相談に適切に対応しています。 ・相談内容は職員間で共有し、支援につなげています。	全職員が保護者様からの相談等に適切に対応できるよう、職員間での情報共有や職員の質の向上を図っていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	現在はそのような機会は設けていません。	今後、ご要望がある場合は必要に応じて実施を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	・苦情対応について契約時に説明をしています。 ・要望にはできる限り対応できるよう努めております。	苦情をいただいた際には、適切かつ迅速に対応ができるよう努めてまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	・Instagramにて教室の様子を投稿しています。 ・毎月おたよりを発行し、保護者様へ活動の予定やお知らせをお伝えしています。 ・毎月の活動プログラムカレンダーを教室に掲示し、お子様自身で活動内容の把握ができるようにしています。	今後も継続していきます。
	35	個人情報に十分注意している	○	・個人情報書類につきましては鍵付き書庫にて保管をしています。 ・契約時に個人情報使用同意書についてご説明し、保護者様に同意をいただいております。	SNSへの投稿時には個人が特定される写真の投稿は控えるなど、今後も個人情報の取扱いに留意し、徹底していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	お子様の特性や発達段階に合わせた配慮、サポートを行っています。	今後も継続していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	現在、実施をしていません。	今後、ご要望がある場合は、必要に応じて実施を検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	各マニュアルの策定を行い、職員間で内容の把握をしています。	保護者様へのマニュアルの周知が不十分な部分もあるため、今後検討をしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	定期的に火災・地震を想定した避難訓練と送迎車置き去り防止訓練を実施しています。	今後も継続していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	定期的に職員研修を実施しています。	今後も継続していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	やむを得ず身体拘束を行うことがないため、記載していません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	・契約時にアレルギー調査票の記入をお願いしています。 ・調理プログラム実施時やおやつの際には、アレルギーに十分留意して提供を行っています。	今後も継続していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	毎日ヒヤリハットを記入し、職員間で共有しています。	今後も継続していき、安全強化に努めていきます。